



若き幕末の志士たちが闊歩した街、下関。
高杉晋作、坂本龍馬と出会う旅
 明治維新の史跡を訪ねる



功山寺

山門やわが国最古の禅寺様式を残した
 仏殿(国宝)が、嘉暦2年(1327)創建
 の由緒を語ります。高杉晋作が挙兵し
 た寺としても知られている。

志士が闊歩した街、下関。

武家社会から近代国家への変革、
 明治維新発祥の地、下関。時代変
 革の舞台となった海峡の街から、紅
 葉きらめく城下町長府をゆつくり
 散策。

維新に散った志士たちが祀られ
 ている「桜山神社」。坂本龍馬も登
 ったといわれる山頂からの眺めが格
 別な「火の山」。長府毛利藩5万石
 の城下町として栄え、今もなお武
 家屋敷の面影を残している城下町
 長府。

晋作や幕末の志士達が愛したま
 ちを、維新の面影をめぐりなが
 らの散策は格別。



桜山神社(招魂社)

高杉晋作の発議により創建され、
 慶応元年落成。招魂社としては日
 本で最初といわれている。吉田松
 陰を中心に、高杉晋作、久坂玄瑞、
 山県有朋等、維新に散った志士や
 奇兵隊たち396柱が祀られている。



下関市立長府博物館

長府毛利家の遺品や坂本龍馬起草
 の「新政府綱領八策」など、幕末期を
 中心に多数の資料を収蔵・展示して
 ある。また、隣接して明治維新を中心
 とした国事に命を捧げた名も無き人々
 の霊を供養するための万骨塔(ばん
 こつとう)がある。塚には「一将功成
 って万骨枯る」の碑と全国から寄せ
 られた石が供えられている。



**高杉晋作
 回天義挙銅像**

今まさに決起しようと
 する高杉の等身大の銅
 像がゆかりの地、功山
 寺の境内に建っている。

半日
 コース



火の山公園

火の山は瀬戸内海国立公園に含まれ、山頂からは瀬戸
 内海、日本海が一望できる。慶応2年6月に始まった第二
 次長州征討(四境戦争)の際、下関に滞在していた坂
 本龍馬は、海戦の戦況を絵図に残している(下関海戦図)。
 その書いた場所が火の山ではないかといわれている。

11月25日(金) 9:15~13:45

桜山神社 明治維新ゆかりの地 火の山展望台

城下町長府の街並み散策 功山寺